令和９年度

ご 案 内



学校法人 近藤学園

名 瀬 幼 稚 園

戸塚区名瀬町７９３－１

電話 ８１２－０２６１

本園について

本園は、東戸塚駅（ＪＲ線）と緑園都市駅（相鉄線）のほぼ中央に位置し、静かな環境の中で、子ども達が楽しみを持って通える幼稚園でありたいと願い、昭和 49 年に開園いたしました。

園舎は東向きに建て日の光が射し込む明るい環境に配慮し、園庭は子ども達が日々の保育の中で友だちと元気一杯に遊べるように出来るだけ広く取り、天気の悪い日でも体育館（多目的ホール）を使用し、いつでも「遊び」の空間を広げる様に心掛けています。

教育方針

恵まれた静かな環境を活かし、色々な保育活動や遊びを展開し、豊かな体験の中から個性豊かな、明るい子どもを育てる。

教育目標

１．静かな環境のもと、健康、安全、基礎体力を充実させ心身の調和と発達を図る。
２．集団生活における基礎的な生活習慣を身につけ、自分の事は自分で出来る子、挨拶の出来る子、多少の失敗にも負けることなく頑張れる子を育てる。
３．創造力、表現力が豊かな子を育てる。
４．クラス、学年、園全体を通じて同年齢、異年齢の友だちと触れ合い、思いやりのある子を育てる。
５．日常の保育や諸行事を通じて、情緒豊かに楽しさや喜びを感じとれる保育を目指す。

保育内容について

１．本園の教育方針、教育目標に従い、子どもが主体的に活動出来るように教育課程を編成する。

2. 教育課程の編成にあたっては、文部科学省の掲げる教育要領（健康、人間関係、環境、言葉、表現の５領域）に従って適切に保育、指導が出来るように配慮する。

３．四季（春、夏、秋、冬）を大切にし、子ども達が保育の中で少しでも多く感じる体験が出来るように配慮する。

４．一日の保育の中でゆったりと遊べる時間を子ども達に持たせる。

５．異年齢（他学年）との交流を持ち、多くの友だちとの関わりを直接感じ取ってもらう。

６．一人遊びができ、また集団遊びにも積極的に参加出来るように促す。

７．無理なく行事に参加出来るように配慮する。

８．年間を通じて色々な体験をし、子どもの持っている可能性を保育者と共に共感する。

９．専任講師による体育指導を保育に取り入れ、小学校に上がるまでの基礎的な運動（室内・屋外）を通じて子ども達が楽しく参加し、体を動かす事の楽しさを感じ取ってもらう。３歳児の体育遊びも以上の事柄を踏まえて、体力作りを目指す。

１０．年長児を対象に英語による保育を実施し、楽しく英語に親しんでもらう事を保育の中に取り入れる。

１１．農園を利用し、主に野菜の栽培にかかわる事を通して、食べられなかった子ども、食べず嫌いの子どもが少しでも食べられるようになってくれる様に、保育の中に取り入れる。

１２．地域に根ざした幼稚園としていく。

※　子ども達に幅広く交流を持たせ、より多くの友だち作りを体験してもらうために、毎年クラス編成を行っております。

ふれあい農園について



園の隣に「ふれあい農園」を開設し、種や株を植えながら野菜の成長を見ることで、子ども達に食べる事の大切さや、楽しさを今以上に感じてもらい、また、収穫した野菜を食べる事で食べられなかった物が少しでも食べられる様になってもらえればと願い、食育を大事にしながら下記の目的を考え保育に取り入れています。

《 目　的 》

1. 食べる事（食育）の大切さ、楽しさを知ってもらう。
2. 季節ごとの野菜の成長や、自分で種をまいた野菜の収穫にも子ども達が関わり、関心を持ってもらう。
3. 年間を通して、収穫した野菜を味わってもらう。
4. 苦手な物を少しでも食べられる手助けとなるようにする。

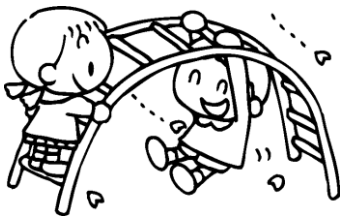


遊びについて

子ども達は、遊びの中で社会性、友だち作り、思いやり、創造性、想像力、失敗や挫折など、色々な事を感じ、身に付けながら、自分自身で考え、時には友だちや保育者に援助をしてもらいながら、人生を切り開く力を少しずつ養っていきます。

また、人間の身体（内臓、筋肉、骨）は、運動による刺激がないと充分な成長はみられないといわれています。特に幼児期は、運動能力（機能）が伸びる時期であり、この時期の運動不足は成人してからの健康にも影響を及ぼします。子どもは遊ぶことによって自然に運動をし、成長に必要な身体への刺激を受けているのです。

以上の事柄を踏まえ、幼児期の遊びや運動は、幼児の成長に不可欠な要素であると考え、当園では「遊び」という領域を大切にして保育（クラス運営）を行っています。



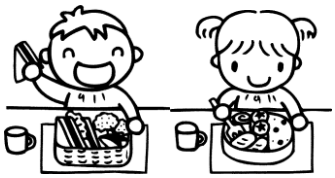
手作り弁当、給食について

幼児期において手作りのお弁当を食べることで、子ども達はご家庭の愛情を感じ、家族と離れていても、安心して生活出来ると考えております。

また、お子さん一人ひとりの好みや、栄養バランスを考えて作られるお弁当は、身体の成長、情緒の安定にもつながります。

当園では、以上の趣旨をご理解いただき、手作りのお弁当を持参していただく様にお願いしています。

但し、昨今のご家庭の事情や都合も考慮し、希望による給食弁当も行っております。詳細については「名瀬幼稚園Ｑ＆Ａ」をご覧ください。



預かり保育について

当園では、“子育て支援”の一環として次の通り預かり保育（名称：のびのびる一むと横浜型預かり保育）を行っています。ご家族の方が心にゆとりを持って子育てを行える様、ご活用ください。

- 「のびのびる一む（横浜型一時預かり保育）」は、降園後から夕方１８：００まで保護者自身や家の用事、兄姉の学校の用事など、ご家庭の都合で利用できます。
- 「横浜型預かり保育」は、横浜市が定める条件（就労、出産他など）を満たした方が、早朝７：３０から夕方１８：３０まで利用できます。

※横浜型預かり保育は、幼児教育・保育無償化の対象事業です。

また、のびのびる一む、横浜型預かり保育とも、春、夏、冬休みの長期休み中（お盆、年末年始を除く）も実施していますが、実施日数、時間、金額等の詳細については、各長期休み前にお知らせします。※巻末の「名瀬幼稚園 Q&A」もご覧下さい。

幼児の成長と幼稚園

《乳児期》心の交流と信頼関係

乳児期の子どもにとって、自分の面倒をみてくれる人は〔親〕です。乳児は泣いたり笑ったりすることで意思表示をし、相手の動きに応じたりします。子どもの感情や動作に対して応えることで、心の交流や信頼関係が生まれ、段々と相手にあわせて一緒に生活していく気持ちや生活リズムを身に付けていくのではないでしょうか。



この乳児期に信頼関係を築くことが、成長してからも自分をコントロールし、社会のルールを守っていくための基礎になります。

《幼児期》大人との関わりの中で

幼児期になって自分で考え、行動するようになると、褒められたり、叱られたり、相手の反応を見たりして、行動の善し悪しを感じ取り、段々と適切な行動がとれるようになります。

そして、言葉の発達、理解により信頼している人から言われたことを聞き入れる様になり、２、３歳になると他人とは違う『自分の意思』が生まれ、第一次反抗期が訪れるようになります。子どもが自分の意思を持ちながら自分をコントロール出来るようになるには、「自分を主張出来ること」と「我慢出来ること」の両方が必要ですので、子どもの意見をきちんと聞いてあげましょう。



幼児期は、自分を充実させ、その力を外の世界へ広げる大事な時期で、思いや願いを外に向けたとき、思い通りにならないことを経験し、自分の気持ちを抑えることも必要だとわかるようになります。

《満３歳児～３歳児について》

満３歳児は３歳児同様以上にサポートの必要を感じておりますので、一人一人に合わせたケアをと考えております。

また、乳児期から幼児期に入り自立への第一歩を踏み出す時期です。行動範囲も家庭から外へと向けられていきます。また、自分の感情や欲求をどう表していいのか試行錯誤している時期でもあります。

このような時期の３歳児を踏まえて、幼稚園では居心地の良い生活の場となるよう環境を整え、そして保育者にも信頼を寄せ、同年齢の友だちや多くの仲間が居ることを感じ取りながら、安定した生活が送れるようにと考えています。

子ども達は、初めは一人遊びが多くても保育者や周りの友だちとの触れ合いを通して、いろいろなことを吸収しながら、好奇心や興味の心の芽を伸ばしていくことになります。



《４歳児から５歳児について》

４歳児以降の子ども達は、グループで遊ぶ場面が多く見られるようになります。言葉も自分の感情や意思を相手に伝えられるようになり、友だちとの意見調整も出来るようになります。

力を合わせてそれぞれが楽しく遊ぶために協力し合いながら、失敗や意見のぶつかり合いを通して、遊びのルールを作り出していくようになります。



幼稚園では、様々なタイプの子ども達が互いを刺激し合い、一緒に楽しんだり、時にはぶつかり合う中から「やくそくごと」や「きまりごと」を学び、自分で行動をコントロール出来る社会性を身に付け、支えあいながら共に成長し合える保育を心がけています。

《園生活について》

子ども達は、初めての集団生活の中で、自分の周囲の状況を自分にとって大切なものとして受け止めていきます。

周囲のさまざまな物や、同、異年齢の友だちのすることに興味を持ち、その関わりの中で、喜び、驚き、悔しさや落胆などのさまざまな感情を伴う体験や、気持ちを動かされる体験の中で他人と共に生活していくうえで大切なことを学びます。

こうした園生活の中で、子ども達は少しずつ社会性や道徳性を身に付けていけるようになります。

《最後に…》

子育てにおいて幼稚園と家庭にはそれぞれの役割があります。幼稚園に入ってすべてが出来る様になるのではなく、幼稚園と家庭が連携し協力し合うことで、よりいっそう子どもの健やかな成長につながります。

家庭の延長に幼稚園があり、幼稚園の延長に家庭があるような連携をつくり、子どもの成長を保護者と一緒に見守っていきたいと考えています。

主な年間行事予定

４月	・★入園式 ・始業式、対面式 ・個人面談 ・★[1]お誕生日会 	７月	・七夕まつり ・プール ・★[1]お誕生日会（７、８月） ・終業式 ・わくわくフェスティバル （年長のみ） ・避難訓練 
５月	・クラス記念写真撮影 ・端午の節句 （柏餅を配布します） ・創立記念日（休園） ・★[1]お誕生日会 ・避難訓練 	８月	・夏期保育 （プール） （夏のお楽しみ会、その他） ・プール閉め 
６月	・衣替え ・内科・歯科検診 ・★父母の日参観 ・じゃがいも掘り ・プール開き ・お料理ごっこ ・遠足（学年毎） ・★[1]お誕生日会 ・避難訓練 	９月	・始業式 ・★[1]お誕生日会 ・避難訓練 

※★印の付いている行事は、保護者も参加する行事です。
※お誕生日会（★１印）は、お子さんの誕生月に保護者も参加していただきます。

主な年間行事予定

１０月	・衣替え ・★運動会 ・次年度願書配布 ・★1お誕生日会 ・お芋掘り（学年別） ・お店屋さんごっこ ・遠足（年長） ・避難訓練 	１月	・始業式 ・★保育参観（体操） ・★1お誕生日会 ・餅つき ・避難訓練 
１１月	・次年度願書受付 ・次年度入園面接（休園） ・お料理ごっこ ・蒸し芋を味わう ・七五三 （千歳飴を配布します） ・★1お誕生日会 ・避難訓練 	２月	・節分 ・次年度入園児学用品引き渡し ・避難訓練 ・お楽しみ会 ・お料理ごっこ（全体） 【みんなで食べよう】 ・★1お誕生日会 
１２月	・クリスマス会予行練習 ・★クリスマス会 ・個人面談（希望制） ・大根掘り ・★1お誕生日会 ・終業式 	３月	・雛祭りお楽しみ観劇会 ・卒園遠足（年長） ・★1お誕生日会 ・★卒園式 ・修了式 

※前年度をもとに記載してありますが、年度により変更があります。
※お誕生日会は、その月の水曜日を予定しています。
※お料理ごっこは年間を通して２～３回各学年毎に実施する予定です。なお、各学年の状況により実施月が異なる場合もあります。

名 瀬 幼 稚 園 Ｑ＆Ａ

Ｑ１　願書の配布と受付について教えてください。

Ａ　横浜市では「願書配布及び受付について決められた期日を厳守するように」との決まりごとがあります。当園はこの期日を守り、次の通り配布、受付をそれぞれ正面玄関にて行います。

願書配布…１０月１５日（木）午前９時３０分から１７時まで

※願書配布は１０月１６日（金）以降も事務窓口にて随時配布します。
事務窓口は午前９時３０分から午後５時まで受け付けています。

願書受付…１１月　１日（日）午前９時３０分から正午まで

※願書受付は各学年が定員になるまで１１月３日以降の平日も随時受付しています。

※願書受付当日に定員に達した場合は、手続きから入園式までの間に家庭の事情（転勤、転居等）により入園辞退をされる方もでてきますので「キャンセル待ち」の受付をさせていただき、辞退者があり次第順番に連絡をさせていただきます。

※満３歳児の入園手続きについては、お子さんの誕生日の１ヶ月ほど前からの受付となります。

Ｑ２　入園時に必要な費用を教えてください。また、月々の保育料の金額を教えてください。

Ａ　願書出願時、手続き時に必要な費用、内容は次の通りです。
なお、詳細の金額については別紙「入園要項」をご覧ください。

・願書出願時に必要な費用　　… **検定料（３，０００円）**
・面接、手続き日に必要な費用　… **入園料（金額は入園要項をご覧ください）**
・学用品申し込みと支払い日　　… **用品代、教材代、絵本代、行事費、保健衛生費（尿検査等）**
（２月上旬予定）

※用品、教材の内容は次の通りです。

用品 … スモック（夏用、冬用）、体操服上下、麦わら帽子（夏用）、カバン、シューズバック

教材 … おもいでファイル、出席ブック、シール、名札、自由画帳、粘土、粘土ケース、粘土板、粘土ヘラ、マーカー、クレヨン、はさみ、のり、おたよりホルダー、かこうもじ（令和８年度５歳）、せんのワーク②（令和８年度４歳）、クレヨンあそび（令和８年度３歳）、お誕生日カード、バスバッチ、防災頭巾等

※用品、教材は、進級後も使用します。大切にご使用ください。

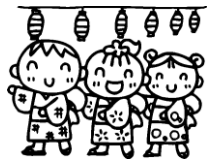
※満３歳児については、入園手続きの際に別途ご説明します。

・3・４・５歳児の月額保育料は保護者が居住する市町村が定める額が無償となり、保護者負担はありませんが**満３歳児においては特定保育料として、５，０００円を月々集金袋にて徴収させていただきます。**
・バス通園の方はバス利用料（３，０００円）を月々集金袋にて徴収させて頂きます。（８月を除く）
・冷暖房費（年額）６，０００円

Ｑ３　何を重要視して保育を行っていますか。
Ａ　子ども達がいろいろな体験を通して心身の発達に応じた総合的保育を目指しています。特に遊びを通して基礎体力を養い、友だちとの触れ合いの中から社会性、道徳性、生活習慣を身に付けられる保育を、また、子どもが安心して自分を表現出来る様に援助する保育を目指しています。



Ｑ４　名瀬幼稚園では、特色としてどんな行事がありますか。
Ａ　子ども達が季節ごとの体験を通して、楽しい思い出となるように、次の様な行事（保育）を行っています。
・お料理ごっこ
体験学習の一環として、各学年により年間３回を目安に「お料理ごっこ」を行っています。子ども達が個々の役割の中で、料理の盛り付けを行う等して、出来あがった物をみんなで味わいます。主なメニューは、カレー、サラダうどん、おにぎり、サンドイッチや汁物類などを作ります。
・わくわくフェスティバル（年長児のみ）
幼稚園でお友だちと過ごし、夕飯のカレーをみんなで食べたり、キャンプファイヤーをして歌ったり、踊ったりと色々な体験をして、貴重な経験と楽しい思い出になります。（お迎えに来られた時に親子で見るイベントも？）



上記のほかにも様々な季節の行事を行っています。
８・９ページの「主な年間行事予定」をご覧ください。

Ｑ５　令和９年度の募集人数を教えてください。
Ａ　令和９年度の予定は次の通りです。（令和８年 10 月１日現在）
満３歳児　…１０～１５名募集　　３歳児　…５０～６０名募集
４歳児　……若干名募集　　５歳児　…若干名募集

Ｑ６　各クラスの担任の他に補助の先生はいるのですか。

Ａ　基本的には１クラスに担任１名ですが、満３歳児、年少、年中については次の通り補助教諭がつく予定です。

・満３歳児組　…　１クラスに担任１名、補助１名で保育を行います。
・年少組　…　１クラスに担任１名、補助１名で保育を行います。
・年中組　…　１クラスに担任１名、補助１名で保育を行います。
※クラス、学年の様子により、補助教諭数の変更があります。
※年長にも補助１名が入る事もあります。

Ｑ７　保育時間を教えてください。

Ａ　保育時間は次の通りです。尚、６月から月１回水曜日に、午後２時まで保育の日があります。

・月、火、木、金曜日 … 午前９時から午後　２時まで
・水曜日及び午前保育 … 午前９時から午前１１時２０分まで
・水曜日（月に１回） … 午前９時から午後　２時まで



Ｑ８　預かり保育について教えてください。

Ａ　“子育て支援”の一環として、次の２種類の預かり保育を行っています。ご家族の方が、心や時間にゆとりを持って子育てを行える様、ご活用ください。

・横浜型一時預かり保育「のびのびる一む（有料）」は、各学期中は保育終了後から午後６時まで、長期休み中は午前８時から午後６時までお預かりします。保護者自身の用事、兄姉の学校や弟妹の通院等、理由を問わずお預かりします。事前の申し込みは勿論、１日の定員に余裕があれば当日の申し込みも可能です。
　なお、のびのびる一むの料金やお休み等の詳細については、入園後に配布するお手紙をご覧ください。
・横浜市の認定を受けて行っている「横浜型預かり保育」は、保護者の就労、出産、介護、病気療養など、日中の育児が難しい保護者に代わって午前７時３０分から正規保育時間を挟んで午後６時３０分までお子さんをお預かりします。
　ご利用は、横浜市の定める条件を満たしている方が対象となります。利用基準、保育時間等の詳細については、２月中旬頃実施予定の「学用品引き渡し」当日にお配りする、お手紙をご覧ください。
　※横浜型預かり保育は、幼児教育・保育無償化の対象となりますので、保護者負担はありません。

Ｑ９　送迎バスの本年度の運行地域とバス停について教えてください。



Ａ　幼稚園を中心として、２台のマイクロバスと１台の大型ワゴン車で各２コースの計６コースの送迎を行っています。送迎地域は次の通りです。

名瀬町、川上町、前田町、品濃町、東品濃、上柏尾町、上矢部、秋葉町、緑園都市、境木町、平戸町、平戸

運行時間については、１コース４５分前後（園出発から園到着まで）を目安にコースの検討をしています。

また、バス停については現在停車しているバス停を基本とし、新入園児の住所を含め次年度のバス停、コース及び時刻表を検討、作成します。

なお、現在のバス停及びバスコースより遠方の方は、近くにバス停を設けることが出来るか、乗降出来るか等をご相談ください。

次年度の運行を考え、状況（遠方、その他）によりバスの利用ができないこともありますので、予めご了承ください。

Ｑ１０　送迎バスの置き去り防止の対策について教えてください。

Ａ　国土交通省による置き去り防止システムの設置の義務化に伴い、安全装置の設置を行っています。また、送迎バスの園到着時には、乗車をしている教職員と運転手が一列ごとに目視による座席の確認を２重に行っています。

Ｑ１１　送迎バスを保護者が利用することはできますか。

Ａ　バスコースによって乗車人数は異なりますが、登園・降園において事前の申し込みによりバス利用園児の保護者の方も乗車できます。「明日は、お誕生日会があるから朝は子どもと一緒にバスに乗りたい」等の際にご利用ください。各バスに乗車出来る人数は園だより等でお知らせします。

また、事前の連絡があれば「〇〇ちゃんの家に遊びに行くので△△バスの□□バス停で降ろしてください」等、園児の乗車バスの臨時変更も大丈夫です。

Ｑ１２　子どもの送迎に自家用車は使用できますか。

Ａ　バス通りに面した駐車場８台と、園裏側のふれあい農園横駐車場１８台をご利用ください。

また、行事によっては、園庭（６０台～８０台）と農園横駐車場（縦列駐車により４０台～５０台）を駐車場として利用します。

なお、行事等の利用については、事前に園だより等でお知らせします。

Ｑ１３　満３歳児、３歳児の入園や保育について教えてください。

Ａ　満３歳児、３歳児からの入園は「まだ心配で手元に置いておきたいけど、早く集団生活に慣れたほうがいいのかしら…」という相談をされる方がよくいらっしゃいます。各ご家庭により事情はある事と思いますが、満３歳児、３歳児からの入園判断としては、まず近所に同年齢のお友だちとの触れ合いの場が無い、安心して戸外で遊べる場所が無い、子育てについて話せる保護者同士の触れ合いの場が無い、などを考えて判断されては如何でしょうか。

また、当園の満３歳児、３歳児の保育については、色々な遊びを通して楽しみながら保育に参加出来るように配慮するとともに、この時期に体力をつけ次の保育につなげていくことを心がけ、身体の発達を促す保育を目指しています。

Ｑ１４　現在、オムツをしているのですが、入園までに取れるか心配です。

Ａ　少しずつ取る練習を始め、入園までに取れることが望ましいことと考えられますが、オムツが取れる時期には、個人差があります。無理をして取る練習を強いても、逆効果ですので、間に合わなくても「小さいときにお漏らしをするのは当然」と考え、ゆったりとした気持ちで対応し、少しでも出来たときには褒めてあげてください。

なお、その時のお子さんの様子により必ずしもとは限りませんが、入園後は基本的にオムツは着用せずに通園していただきます。ご心配の方は担任にご相談ください。

Ｑ１５　昼食はお弁当ですか。給食はないのでしょうか。

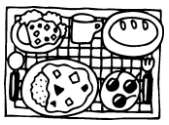
Ａ　当園では、創立以来ご家族の手作りのお弁当が幼児期の成長には望ましいと考え、お弁当持参をお願いしています。

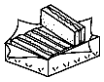
但し、昨今のご家庭の事情や都合も考慮し、希望による週２日か、週４日の給食弁当を園指定の曜日に限り次の通り行っております。

なお、園外保育や運動会等、園の行事の時には給食弁当を除かせていただきます。

・週２日　…　月、火曜日

・週４日　…　月、火、木、金曜日





※横浜市による副食費の補助条件があります。

詳細については、入園時にお配りする「令和９年度横浜市幼稚園（施設型給付園）・認定こども園（教育利用）利用案内」をご確認ください。

※現在、給食を納入している安田物産では、アレルギー除去食に対応しておりますので、ご希望の方はご相談ください。なお、すべてのアレルギーに対応している訳ではありませんので、ご承知おきください。

Ｑ１６　各学年、各クラスとの交流はあるのでしょうか。

Ａ　縦割り保育によるゲーム大会や制作等の機会や、各学年、各クラスとの交流の場を設けて、より多くの友だちとの触れ合いを考慮して保育を行います。

また、自由遊びの時間も各学年、各クラスで行き来が出来るように心がけています。

Ｑ１７　園の外に散歩に行くことはありますか。

Ａ　各学年、各クラスで子ども達の状態に応じて園周辺を散策したり、近隣の公園に遊びに行きます。

また、園バスを活用して、遠方への園外保育、年長児の卒園遠足等も行っています。



Ｑ１８　幼稚園での衛生管理としては何をしていますか。

Ａ　保育終了後や園児バスの送迎後には、使用したおもちゃ、バスの座席、砂場等に定期的な消毒作業をしています。

Ｑ１９　体育指導やプール指導はしていますか。

Ａ　年少、年中、年長の成長と体力づくりを考え、体育専門講師が年間カリキュラムを作成し、園児一人ひとりが各担任と共に、身体を動かすことの楽しさを感じ取れる様に体育指導を行っています。

また、６月中旬から７月には体育専門講師による、水に親しみ、水に対する恐怖心を取り除くことを目的としたプール指導を行うと共に、天気が良い日には園庭で思いっきり水遊びをし、水に親しむ機会を作っています。



Ｑ２０　英語遊びについて教えてください。

Ａ　専任の先生が年長児を対象（１学期と３学期）に指導しています。子ども達が英語に親しみを持てる様に、英語の発音、発声を大切にし、歌やゲームで楽しんで学べる様に行っています。

Ｑ２１　体操服はどの様な物を使用しますか、また入園までに一人で脱ぎ着できなければダメでしょうか。

Ａ　当園では３歳児～５歳児に使用する体操服として指定の半袖、半ズボンを着用しますが、お子さんの体調等により、タイツや長袖 T シャツ等を着用しても結構です。ご希望の方には、長袖、長ズボンの体操服も販売していますので、事務窓口へご相談ください。

また、体操服に限らず自分の身の回りの支度などは、出来るだけ自分で出来る様に指導しておりますが、ご家庭での指導の延長が園の指導にも結び付きますのでご協力をお願いします。



Ｑ２２　年間を通して、保護者、家族が参加する行事はありますか。

Ａ　主に次の行事に参加して、日々の成長の様子をご覧頂き、お子さんの思い出作りに参加していただいております。

・父母の日参観　　・運動会　　・クリスマス会

・入園式、卒園式　　・お誕生日会

なお、各行事については、その都度事前にお手紙にてお知らせします。



Ｑ２３　農園では何を作っていますか。

Ａ　年度ごとに種類は変わりますが、トマト、ピーマン、ナス、キュウリ、ジャガイモ、里芋、ブロッコリー、サツマイモ、枝豆、大根、玉ねぎ、白菜等、季節ごとに収穫したり、食べる事が出来る様にと考え育てています。

Ｑ２４　文字の指導は行っていますか。

Ａ　個々において文字に興味、関心を持ってきた時に自分の姓名が読み書き出来る様に援助し、年長組では“あいうえお”の五十音練習帳を取り入れています。なお、一人ひとりに個性があるように発達段階にも違いがあります。心配する必要はありませんが、ご家庭でもお子さんにあった環境設定をしてあげてください。

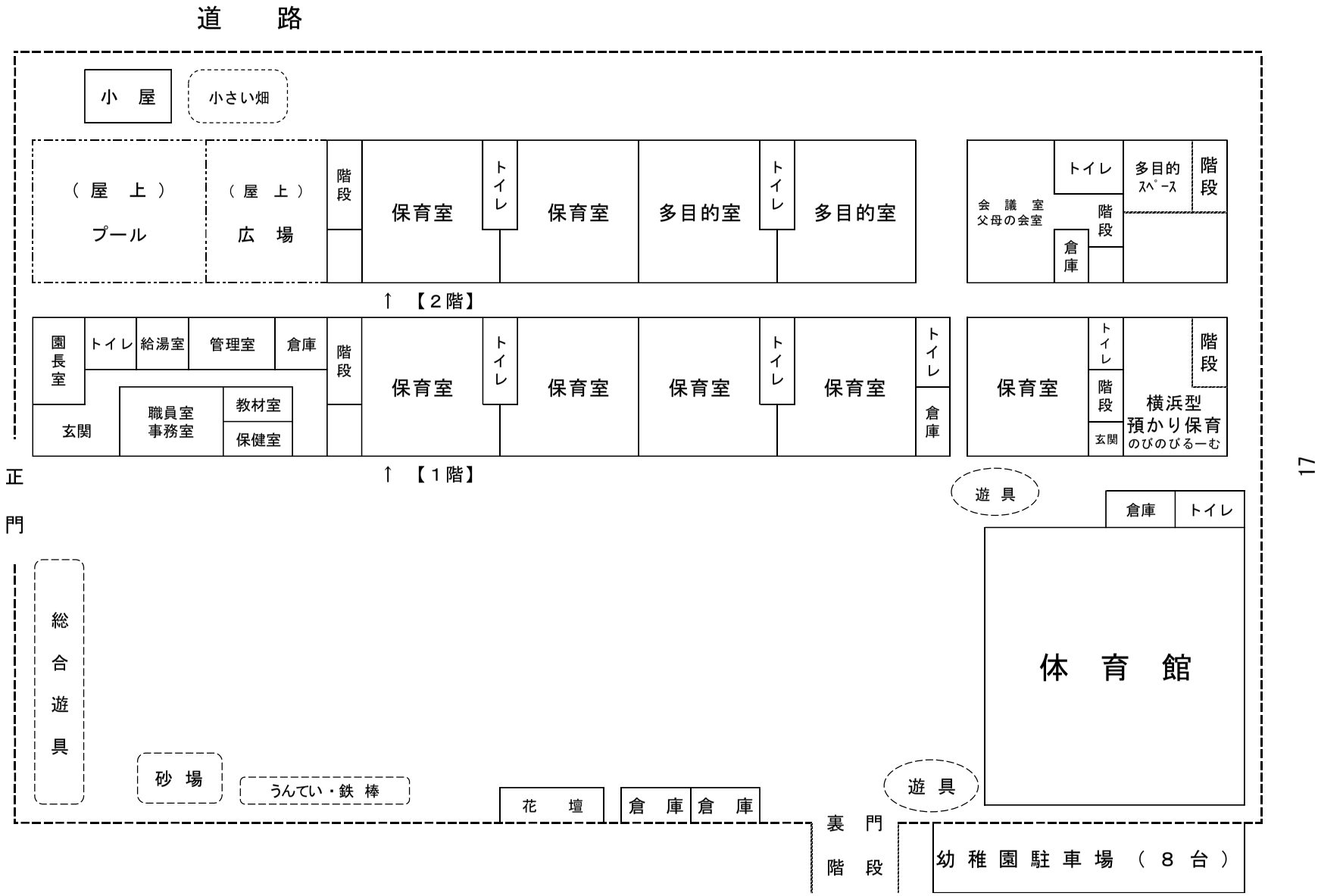
Q２５　進学にあたり、小学校との交流などあるのですか。

Ａ　年長児は、毎年１１月と２月に小学１年生との交流と、小学校がどんなところかを見学する意味もかねて近隣の小学校へ遊びに行きます。また、３月に卒園した子ども達が、幼稚園に遊びに来て卒園時のクラスで過ごす「同窓会」を行っています。



Ｑ２６　子ども達の課外活動を行っていますか。

Ａ　現在は、園庭・ホールを貸し出し、「ホイッスルスポーツクラブ」が体操教室（月曜日・３歳児より）、「フィールズアカデミー空手道教室」が名瀬幼稚園空手クラブ（火曜日・３歳児より）、「コスモスキッズダンス」がダンス教室（火曜日・３歳児より）、「ＳＣＨフットボールクラブ」がサッカー教室（水曜日・４歳児より、３歳児は要相談）を行っています。


道　路
小　屋
小さい畑
（屋　上）
プール
（屋　上）
広　場
階段
保育室
トイレ
保育室
多目的室
トイレ
多目的室
トイレ
多目的スペース
階段
会　議　室
父母の会室
階段
倉庫
↑　【２階】
園長室
トイレ
給湯室
管理室
倉庫
階段
保育室
トイレ
保育室
保育室
トイレ
保育室
トイレ
倉庫
保育室
トイレ
階段
横浜型
預かり保育
のびのびるーむ
玄関
職員室
事務室
教材室
保健室
玄関
↑　【１階】
遊　具
倉庫
トイレ
正
門
総合遊具
体　育　館
砂　場
うんてい・鉄　棒
花　壇
倉　庫
倉　庫
遊　具
裏　門
階　段
幼稚園駐車場（８台）